

<p>第17号 児童数 316名 (男182名女134)</p> <p>〒311-2442 潮来市小泉2090</p>		<h1>のぶっ子</h1>	<p>Tel :0299-66-2076</p> <p>Fax:0299-66-4692</p> <p>URL:https://www.itako-school.jp/nobukata-el/</p>
<p>みんなが主役・みんなで学ぶ学校</p> <p>あいことば: あいあい(I.I)大作戦 スローガン: やさしく かしく たくましく</p>			



卒業式を挙行了しました。保護者の皆様、在校生、職員、来賓の皆様、はなむけの言葉を寄せて頂いた皆様など、たくさんの方々の期待を胸に、58名の卒業生が、思い出多き学び舎を旅立ちました。

令和七年度 潮来市立延方小学校 第七十九回 卒業式式辞

北浦に渡ってきた白鳥が、遠くシベリアへ帰る準備を始めるこの季節、本校六年生もまた、慣れ親しんだ学び舎を巣立つ時を迎えました。

本日、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、令和七年度潮来市立延方小学校第七十九回卒業式を挙行できまことを、心より感謝申し上げます。

小学校六年間の学びを終え、本日、延方小学校を卒業する五十八名の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは、この六年間、日々の学習はもちろんのこと、さまざまな行事や活動に真剣に取り組みながら、大きく成長してきました。私は、皆さんが後輩の手本となり、学校のために力を尽くす姿を、たいへん頼もしく見てきました。

先日配付された卒業文集も、じっくりと読ませていただきました。そこには、皆さん一人一人の経験や思いが、素直な言葉で綴られていました。

学校生活の中で、多くの友達に助けられてきたという文章がありました。苦手な勉強で困っているとき、「一緒にやろう」と声をかけてくれた友達がいたこと。忘れ物をしたとき、優しく貸してくれた友達や先生がいたこと。そうした出来事を通して、たくさんの人に支えられてきたことへの感謝の気持ちが、まっすぐに伝わってきました。そして今度は、自分が誰かの助けとなり、「ありがとう」と言ってもらえる人になりたいと書かれていました。

また、得意な科目で思うような結果が出ず、落ち込んで帰宅したときのことを書いた文章もありました。そんなとき、お母さんから「ほら、口角を上げて」と声をかけられ、無理にでも笑顔をつくってみると、不思議と気持ちが軽くなったそうです。そして、「笑う門には福来たる」という言葉を信じて、前向きに過ごしていきたいと書かれていました。

陸上記録会で高跳びに挑戦した経験を書いた人もいました。バーを越えるたびに、友達から大きな声援が送られます。自分を応援してくれている仲間を感じたとき、胸が熱くなり、声援を送ってくれた友達みんなが、大切な仲間だと思えたと書かれていました。

勉強や運動、友達との関わり、家族とのふれあいなど、さまざまな経験の中で努力し、ときには悩みながらも前に進もうとする姿が、そこには確かにありました。これらの経験の一つ一つが、皆さんを「やさしく、かしく、たくましく」成長させてくれたのだと思います。

さて、今年度の運動会では、わずか一点差の大接戦の末、九年ぶりに赤組が勝利しました。最後まであきらめずに競い合い、互いを称え合う姿は、とても印象的でした。皆さんにとっても、心に残る思い出の一つになったことでしょう。

しかし、このような楽しい学校行事や、安心して学ぶことのできる日々の学校生活も、平和な社会があつてこそ成り立つものです。そして、平和な社会をつくる第一歩は、「自分のことだけを考えるのではなく、他の人にも関心をもつこと」だと私は思います。

今、自分がしようとしているその行動や発言は、「誰かのためになるのか」。ほんの少しでも、そのことを考えてみてください。その思いを、ぜひ心の片隅に置いて、これからの人生を歩んでいってほしいと願っています。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございませす。また、これまで本校の教育活動に深いご理解と温かいご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

お子様が小学校卒業という節目を迎えられたことは、保護者の皆様にとっても感慨深いことであり、これまでのご苦労が大きな喜びへと変わる一日であることと拝察いたします。

子どもたちは立派に成長いたしました。これから先、子どもたちを取り巻く社会はさらに大きく変化していくことでしょう。どうかこれからも温かく見守り、支えていただきますようお願い申し上げます。

結びに、卒業生五十八名の前途が希望に満ちたものでありますこと、そして、それぞれの夢に向かって力強く歩み、やがて社会の中で大きく羽ばたき、立派な人になってくれることを心より願い、式辞といたします。

